

インストラクターセミナーのお知らせ

五月晴れの日々が続き、大変、爽やかな今日この頃ですが、先生方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、歯科界は、かなり厳しい状況がはっきりしてまいりました。先般、発刊された週刊「東洋経済」の医療特集では「歯医者さんの5人に1人が年収（年間所得）300万円！」と掲載され、大変な反響でしばらく同誌の入手が不可能な状態が続くという事態でした。医療系のメーリングリストではいまだに本誌の話題が続いています。

本当に厳しい時代ではありますが、国際歯周内科学研究会の会員の多くは順調な医院経営をされているとシロクスさんやディーラーさんを通じて聞き及んでいます。最新の有益情報を取り入れて、医院経営を行えば当然の結果であると思います。インストラクター会議におきましては、各自が、さまざまな講習会・研修会に参加し、最も有益で経営に即効性があると思われる内容を持ち寄り、検討を行い、実施・検証を行っています。その結果、患者数が増えすぎ新患を制限しないとイケないインストラクターもでてきています。

理事長である私は自費とは無縁の超過疎地で開業していますが、インストラクターの先生方から医院経営を自費化するノウハウを教えていただき、急激に自費が伸びています。

今回、先生方に各インストラクターの講習会案内書をご送付申し上げます。皆さん素晴らしい内容で、講習会受講の先生方の評価も非常に高評価です。是非、各インストラクターの得意とする内容をお聞きいただき、医院経営を磐石なものにしていただきたいと思います。

有限責任中間法人 国際歯周内科学研究会 代表理事 生田 凶南

週刊「東洋経済」の歯科の記事をお送りします。今後の医療界全体の方向性が約70ページにわたり非常に真面目な取材で記述されています。是非、東洋経済新報社（FAX03-3688-8901）にお問い合わせされ、入手熟読されることをお勧めします。